

宿 泊 約 款

<適用範囲>

第1条 当館が宿泊客との間で締結する宿泊契約およびこれに関連する契約は、この約款の定めるところによるものとし、この約款に定めのない事項については、法令または一般に確立された慣習によるものとします。

2. 当館が、法令および慣習に反しない範囲で特約に応じたときは、前項の規定にかかわらず、その特約が優先するものとします。

<宿泊契約の申込み>

第2条 当館に宿泊契約の申込みをしようとする者は、次の事項を当館に申し出てください。

- (1) 宿泊者名
- (2) 宿泊日および到着予定時刻
- (3) 宿泊料金(原則として別表第1の基本宿泊料による)
- (4) その他当館が必要と認める事項

2. 宿泊客が、宿泊中に前項第2号の宿泊日を超えて宿泊の継続を申し入れた場合、当館は、その申し出がなされた時点で新たな宿泊契約の申込みがあったものとして処理します。

<宿泊契約の成立等>

第3条 宿泊契約は、当館が前条の申込みを承諾したときに成立するものとします。ただし、当館が承諾をしなかったことを証明したときは、この限りではありません。

2. 前項の規定により宿泊契約が成立したときは、宿泊期間の基本宿泊料を限度として当館が定める申込金を、当館が指定する日までに、お支払いいただきます。

3. 申込金は、まず、宿泊客が最終的に支払うべき宿泊料金に充当し、第6条および第18条の規定を適用する事態が生じたときは、違約金に次いで賠償金の順序で充当し、残額があれば、第12条の規定による料金の支払いの際に返還します。

4. 第2項の申込金を同項の規定により当館が指定した日までに支払っていない場合は、宿泊契約は、その時刻を失うものとします。ただし、申込金の支払期日を指定するに当たり、当館がその旨を宿泊客に告知した場合に限り、前項の規定にかかわらず、当館は、契約の成立後同項の申込金の支払いを要しないこととする特約に応じることがあります。

<申込金の支払いを要しないこととする特約>

第4条 前条第2項の規定にかかわらず、当館は、契約の成立後同項の申込金の支払いを要しないこととする特約に応じることがあります。

2. 宿泊契約の申込みを承諾するに当たり、当館が前条第2項の申込金の支払いを求めなかった場合および当該申込金の支払期日を指定しなかった場合は、前項の特約に応じたものとして取り扱います。

<施設における感染防止対策への協力の求め>

第4条の2 当館は、宿泊しようとする者に対し、旅館業法第4条の2第1項の規定による協力を求めることができます。

<宿泊契約締結の拒否>

第5条 当館は、次に掲げる場合において、宿泊契約の締結に応じないことがあります。

- (1) 宿泊の申込みが、この約款によらないとき。
- (2) 満室(員)により客室の余裕がないとき。
- (3) 宿泊しようとする者が、宿泊に関し、法令の規定、公の秩序若しくは善良の風俗に反する行為をするおそれがあると認められるとき。
- (4) 宿泊しようとする者が、旅館業法第4条の2第1項第2号に規定する特定感染症の患者等(以下「特定感染症の患者等」という。)であるとき。
- (5) 当館・スタッフ又は他の宿泊客に対し、暴力・脅迫・恐喝等の不当要求や迷惑を及ぼす言動をしたとき。
- (6) 宿泊に関し合理的な範囲を超える負担を求められたとき。
- (7) 宿泊しようとする者が、当館に対し、その実施に伴う負担が過度であって他の宿泊客に対する宿泊に関するサービスの提供を著しく阻害するおそれのある要求として旅館業法施行規則第5条の6で定めるものを繰り返したとき。
- (8) 天災・施設の故障・その他やむを得ない事由により宿泊させることができないとき。
- (9) 宿泊しようとする者が、暴力団員・暴力団関係団体又は関係者・その他反社会的勢力であることが判明したとき。
- (10) 山形県旅館業法施行条例第5条の規定する場合に該当するとき。

<宿泊客の契約解除権>

第6条 宿泊客は、当館に申し出て、宿泊契約を解除することができます。

2. 当館は、宿泊客がその責めに帰すべき事由により宿泊契約の全部または一部を解除した場合(第3条第2項の規定により当館が申込金の支払期日を指定してその支払いを求めた場合であって、その支払いより前に宿泊客が宿泊契約を解除したときを除きます。)、別表第2に掲げるところにより、違約金を申し受け、

3. 当館は、宿泊客が連絡をしないで宿泊日当日の午後8時(あらかじめ到着時刻が明示されている場合は、その時刻を2時間経過した時刻)になっても到着しないときは、その宿泊契約は宿泊客により解除されたものとみなし処理することができます。

<当館の契約解除権>

第7条 当館は、次に掲げる場合においては、宿泊契約を解除することができます。

- (1) 宿泊客が宿泊に関し、法令の規定・公の秩序若しくは善良の風俗に反する行為をするおそれがあると認められるとき、または同行行為をしたと認められるとき。
- (2) 宿泊客が特定感染症の患者等であるとき。
- (3) 当館・スタッフ又は他の宿泊客に対し、暴力・脅迫・恐喝等の不当要求や迷惑を及ぼす言動をしたとき。
- (4) 宿泊に関し合理的な範囲を超える負担を求められたとき。
- (5) 宿泊客が、当館に対し、その実施に伴う負担が過度であって他の宿泊客に対する宿泊に関するサービスの提供を著しく阻害するおそれのある要求として旅館業法施行規則第5条の6で定めるものを繰り返したとき。
- (6) 天災等不可抗力に起因する事由により宿泊させることができないとき。
- (7) 山形県旅館業法施行条例第5条の規定する場合に該当するとき。
- (8) 喫煙での喫たばこ、消防用設備等に対するいたづら、その他当館が定める利用規則の禁止事項(火災予防上必要なものに限る。))に従わないとき。
- (9) 宿泊客が暴力団員・暴力団関係団体又は関係者・その他反社会的勢力であることが判明したとき。

2. 当館は前項の規定に基づいて宿泊契約を解除したときは、宿泊客がまだ提供を受けていない宿泊サービス等の料金はいただきません。

<宿泊の登録>

第8条 宿泊客は、宿泊日当日、当館のフロントにおいて、次の事項を登録していただきます。

- (1) 宿泊者の氏名・年令・住所・および連絡先
- (2) 日本国内に住所を有しない外国人にあっては、国籍・旅券番号・入国地および入国年月日
- (3) 出発日および出発予定時刻

(4)その他当館が必要と認める事項

2. 宿泊客が第12条の料金の支払いを、宿泊券・クレジットカード等通貨に代わり得る方法により行おうとするときは、あらかじめ、前項の登録時にそれらを提示していただきます。

<客室の使用時間>

第9条 宿泊客が当館の客室を使用できる時間は、午後2時から翌朝10時までとします。ただし、連続して宿泊する場合には、到着日および出発日を除き、終日使用することができます。

2. 当館は、前項の規定にかかわらず、同項に定める時間外の客室の使用に際することがあります。

<利用規則の遵守>

第10条 宿泊客は、当館内においては、当館が定めた利用規則に従っていただきます。

<営業時間>

第11条 当館の主な施設等の営業時間は備付けパンフレット等で、御案内いたします。

2. 前項の時間は、必要やむを得ない場合には随時に変更することがあります。その場合には、適当な方法をもってお知らせします。

<料金の支払い>

第12条 宿泊客が支払うべき宿泊料金等の内訳は、別表第1に掲げるところにより、

1. 前項の宿泊料金等の支払いは、通貨または当館が認めた宿泊券、クレジットカード等これに代わり得る方法により、宿泊客の出発の際または当館が請求した時、フロントにおいて行っていただきます。
2. 当館が宿泊客に客室を提供し、使用が可能になったのち、宿泊客が任意に宿泊しなかった場合においても、宿泊料金は申し受け、

<当館の責任>

第13条 当館は、宿泊契約およびこれに関連する契約の履行に当たり、またはそれらの不履行により宿泊客に損害を与えたときは、その損害を賠償します。ただし、それが当館の責めに帰すべき事由によるものでないときは、この限りではありません。

2. 当館は、万一の火災等に対処するため、旅館賠償責任保険に加入しております。

<契約した客室の提供ができないときの取扱い>

第14条 当館は、宿泊客に契約した客室を提供できないときは、宿泊客の了解を得て、できる限り同一の条件による他の宿泊施設をあっ旋するものとします。

2. 当館は、前項の規定にかかわらず他の宿泊施設のあっ旋ができないときは、違約金相当額の補償料を宿泊客に支払い、その補償料は損害賠償額に充当します。ただし、客室が提供できないことについて、当館の責めに帰すべき事由がないときは、補償料を支払いません。

<寄託物等の取扱い>

第15条 宿泊客がフロントにお預けになった物品または現金ならびに貴重品について、滅失、毀損等の損害が生じたときは、それが不可抗力である場合を除き、当館は、その損害を賠償します。ただし、現金および貴重品については、当館がその種類および価額の申告を求めた場合であって、宿泊客がそれを行わなかったときは、当館は15万円を限度としてその損害を賠償します。

2. 宿泊客が、当館内にお持込になった物品または現金ならびに貴重品であってフロントにお預けにならなかったものについて、当館の故意または過失により滅失、毀損等の損害が生じたときは、当館はその損害を賠償します。ただし、宿泊客からあらかじめ種類および価額の申告のなかったものについては、当館に故意または重大な過失がある場合を除き15万円を限度として当館はその損害を賠償します。

<宿泊客の手荷物または携帯品の保管>

第16条 宿泊客の手荷物、当館に先立ち当館に到着した場合は、その到着前に当館が了承したときに限って責任をもって保管致します。

2. 宿泊客がチェックアウトしたのち、宿泊客の手荷物または携帯品が当館に置き忘れていた場合において、その所有者が判明したときは、当館は、当該所有者に連絡するとともにその指示を求めるものとします。ただし、所有者の指示がない場合または所有者が判明しないときは、発見日を含め7日間保管し、その後最寄りの警察署に届けます。

3. 前2項の場合における宿泊客の手荷物または携帯品の保管についての当館の責任は、第1項の場合にあっては前条第1項の規定に、前項の場合にあっては同条第2項の規定に準ずるものとします。

<駐車場の責任>

第17条 宿泊客が当館の駐車場をご利用になる場合、車両のキーの寄託の如何にかかわらず、当館は場所をお貸しするものであって、車両の管理責任まで負うものではありません。ただし、駐車場の管理に当たり、当館の故意または過失によって損害を与えたときは、その賠償の責めに任じます。

<宿泊客の責任>

第18条 宿泊客の故意または過失により当館が損害を被ったときは、当該宿泊客は当館に対し、その損害を賠償していただきます。

<別表第1> 宿泊料金の算定方法(第2条第1項および第12条第1項関係)

項目	内訳	
	宿泊料金	① 基本宿泊料 (室料+夕・朝食料)
追加料金	② 追加飲食 (夕・朝食以外の飲食料およびその他の利用料)	
税金	イ 消費税 ロ 入湯税	

備考 子供料金は小学生以下に適用し、食事、寝具、浴衣等を提供したときは別料金をいただきます。

<別表第2> 違約金(第6条第2項関係)

1. 通常期における違約金

契約締結日	契約締結日	契約締結日													
		不	当	前	2	3	5	6	7	8	14	15	30		
14名まで	治	100%	100%	50%	30%	30%									
15名-30名まで	治	100%	100%	50%	30%	30%									
31名-100名まで	治	100%	100%	80%	50%	30%	30%	20%	20%	10%	10%				
101名以上	治	100%	100%	80%	50%	50%	30%	30%	30%	15%	15%	10%	10%		

備考 1. %は、基本宿泊料に対する違約金の比率です。

2. 違約金において、全ての宿泊日、または一部の宿泊日を取消した場合、取消した宿泊日全てに対して、前述の「別表第2」で記入した違約金が発生する。

3. 予約人数の一部について取消があった場合、予約人数にかかわらず、取消した人数に対して、前述の「別表第2」で記入した違約金が発生する。

2. 年末年始・その他特定日における違約金
年末年始・その他特定日において特別プランをお申し込みいただいた場合、前項の規程にかかわらず、そのプランに記載されたキャンセル規定に従って計算した金額を違約金として取受します。

TERMS AND CONDITIONS FOR ACCOMMODATION CONTRACTS

<Scope of Application>

Article 1 Contracts for Accommodation and related agreements to be entered into between this Ryokan and the Guest to be accommodated shall be subject to these Terms and Conditions. And any particulars not provided for herein shall be governed by laws and regulations and/or generally accepted practices.

2. In the case when the Ryokan has entered into a special contract with the Guest in so far as such special contract does not violate laws and regulations and generally accepted practices, notwithstanding the preceding Paragraph, the special contract shall take precedence over the provisions of these Terms and Conditions.

<Application for Accommodation Contracts>

Article 2 A Guest who intends to make an application for an Accommodation Contract with the Ryokan shall notify the Ryokan of the following particulars:

- (1) Name of the Guest
- (2) Date of accommodation and estimated time of arrival;
- (3) Accommodation Charges (based, in principle, on the Basic Accommodation Charges listed in the Attached Table No.1); and
- (4) Other particulars deemed necessary by the Ryokan.

2. In the case when the Guest requests, during his stay, extension of the accommodation beyond the date in Subparagraph (2) of the preceding Paragraph, it shall be regarded as an application for a new Accommodation Contract at the time such request is made.

<Conclusion of Accommodation Contracts, etc.>

Article 3 A Contract for Accommodation shall be deemed to have been concluded when the Ryokan has duly accepted the application as stipulated in the preceding Article. However, the same shall not apply when it has been proved that the Ryokan has not accepted the application.

2. When a Contract for Accommodation has been concluded in accordance with the provisions of the preceding Paragraph, the Guest is requested to pay an accommodation deposit fixed by the Ryokan within the limits of Basic Accommodation Charges covering the Guest's entire period of stay by the date specified by the Ryokan.

3. The deposit shall be first used for the Total Accommodation Charges to be paid by the Guest, then secondly for the cancellation charges under Article 6 and thirdly for the reparations under Article 18 as applicable, and the remainder, if any, shall be refunded at the time of the payment of the Accommodation Charges as stated in Article 12.

4. When the Guest has failed to pay the deposit by the date as stipulated in Paragraph 2, the Ryokan shall treat the Accommodation Contract as invalid. However, the same shall apply only in the case when the Guest is thus informed by the Ryokan when the period of payment of the deposit is specified.

<Special Contracts Requiring No Accommodation Deposit>

Article 4 Notwithstanding the provisions of Paragraph 2 of the preceding Article, the Ryokan may enter into a special contract requiring no accommodation deposit after the Contract has been concluded as stipulated in the same Paragraph.

2. In the case when the Ryokan has not requested the payment of the deposit as stipulated in Paragraph 2 of the preceding Article and/or has not specified the date of the payment of the deposit at the time the application for an Accommodation Contract has been accepted, it shall be treated as that the Ryokan has accepted a special contract prescribed in the preceding Paragraph.

<Request for cooperation in infection prevention measures at facilities>

Our hotel may request the cooperation of those who wish to stay in accordance with the provisions of article 4-2, paragraph 1 of the hotel business Act.

<Refusal of Accommodation Contracts>

Article 5 The Ryokan may not accept the conclusion of an Accommodation Contract under any of the following cases:

- (1) When the application for accommodation does not conform with the provisions of these Terms and Conditions;
- (2) When the Ryokan is fully booked and no room is available;
- (3) When the Guest seeking accommodation is deemed liable to conduct himself in a manner that will contravene the laws or act against the public order or good morals in regard to his accommodation;
- (4) When the Guest seeking accommodation is a patient with a specified infectious disease, etc. as stipulated in article 4-2, paragraph 1, item 2 of the Inns and Ryokan Act (hereinafter referred to as "patient with a specified infectious disease");
- (5) When a guest engages in behavior that causes unreasonable demands or inconvenience, such as violence, threats, or blackmail, toward the hotel staff or other guests;
- (6) When you are asked to bear a burden that exceeds a reasonable range regarding accommodation;
- (7) According to Article 5-6 of the hotel business Act enforcement regulations, a person seeking accommodation may make a request to the hotel that is burdensome or excessive and may seriously impede the provision of accommodation-related services to other guests. It's like repeating what you set out.
- (8) When the Ryokan is unable to provide accommodation due to natural calamities, dysfunction of the facilities and/or other unavoidable causes;
- (9) When persons who are seeking accommodation or staying at the Hotel are determined to be of an undesirable nature; member of an underground organization/Mafia/societal sects.
- (10) When the provisions of Article 5 of YAMAGATA Prefectural Ordinance are applicable.

<Right to Cancel Accommodation Contracts by the Guest>

Article 6 The Guest is entitled to cancel the Accommodation Contract by so notifying the Ryokan.

2. In the case when the Guest has cancelled the Accommodation Contract in whole or in part due to causes for which the Guest is liable (except in the case when the Ryokan has requested the payment of the deposit during the specified period as prescribed in Paragraph 2 of Article 3 and the Guest has cancelled before the payment), the Guest shall pay cancellation charges listed in the Attached Table No. 2. However, in the case when a special contract as prescribed in Paragraph 1 of Article 4 has been concluded, the same shall apply only when the Guest is informed of the obligation of the payment of the cancellation charges in case of cancellation by the Guest.

3. In the case when the Guest does not appear by 8 p.m. of the accommodation date (2 hours after the expected time of arrival if the Ryokan is notified of it) without an advance notice, the Ryokan may regard the Accommodation Contract as being cancelled by the Guest.

<Right to Cancel Accommodation Contracts by the Ryokan>

Article 7 The Ryokan may cancel the Accommodation Contract under any of the following cases:

- (1) When the Guest is deemed liable to conduct and/or have conducted himself in a manner that will contravene the laws or act against the public order or good morals in regard to his accommodation;
- (2) When the guest is a patient of a specified infectious disease.
- (3) When a guest engages in behavior that causes unreasonable demands or inconvenience, such as violence, threats, or blackmail, toward the hotel staff or other guests.
- (4) The following statement is the same as the above statement.
- (5) When you are asked to bear a burden that exceeds a reasonable range regarding accommodation.
- (6) When the Ryokan is unable to provide accommodation due to natural calamities and/or other causes of force majeure;
- (7) When the provisions of Article 5 of YAMAGATA Prefectural Ordinance are applicable;
- (8) When the Guest does not observe prohibited actions such as smoking in bed, mischief to the fire-fighting facilities and other prohibitions of the Use Regulations stipulated by the Ryokan (restricted to particulars deemed necessary in order to avoid the causing of fires).
- (9) When the Guest is determined to be of an undesirable nature; member of an underground organization/Mafia/societal sects.

2. In the case when the Ryokan has cancelled the Accommodation Contract in accordance with the preceding Paragraph, the Ryokan shall not be entitled to charge the Guest for any of the services in the future during the contractual period which he has not received.

<Registration>

Article 8 The Guest shall register the following particulars at the front desk of the Ryokan on the day of accommodation.

- (1) Name, age, address contact information and occupation of the Guest
- (2) For non-Japanese: nationality, passport number, port and date of entry in Japan;
- (3) Date and estimated time of departure; and
- (4) Other particulars deemed necessary by the Ryokan.

2. In the case when the Guest intends to pay his Accommodation Charges prescribed in Article 12 by any means other than Japanese currency, such as traveler's cheques, coupons or credit

cards, these credentials shall be shown in advance at the time of the registration prescribed in the preceding Paragraph.

<Occupancy Hours of Guest Rooms>

Article 9 The Guest is entitled to occupy the contracted guest room of the Ryokan from 2 p.m. to 10 a.m. the next morning. However, in the case when the Guest is accommodated continuously, the Guest may occupy it all day long, except for the days of arrival and departure.

2. The Ryokan may, notwithstanding the provisions prescribed in the preceding Paragraph, permit the Guest to occupy the room beyond the time prescribed in the same Paragraph.

<Observance of Use Regulations>

Article 10 The Guest shall observe the Use Regulations established by the Ryokan, which are posted within the premise.

<Business hours>

Article 11 The business hours of the main facilities, etc. of the Ryokan are as follows, and those of other facilities, etc. shall be notified in detail by brochures as provided and others.

2. The business hours specified in the preceding Paragraph are subject to temporary charges due to unavoidable causes of the Ryokan. In such a case, the Guest shall be informed by appropriate means.

<Payment of Accommodation Charges>

Article 12 The breakdown and method of calculation of the Accommodation Charges, etc. that the Guest shall pay is as listed in the Attached Table No.1.

2. Accommodation Charges, etc. as stated in the preceding Paragraph shall be paid with Japanese currency or by any means other than Japanese currency such as traveler's cheques, coupons or credit cards recognized by the Ryokan at the front desk at the time of the departure of the Guest or upon request by the Ryokan.

3. Accommodation Charges shall be paid even if the Guest voluntarily does not utilize the accommodation facilities provided for him by the Ryokan and are at his disposal.

<Liabilities of the Ryokan>

Article 13 The Ryokan shall compensate the Guest for the damage if the Ryokan has caused such damage to the Guest in the fulfillment or the nonfulfillment of the Accommodation Contract and/or related agreements. However, the same shall not apply in cases when such damage has been caused due to reasons for which the Ryokan is not liable.

2. Even through the Ryokan is covered by the Ryokan Liability Insurance in order to deal with unexpected fire and/or other disasters.

<Handling When the Ryokan is unable to Provide Contracted Rooms>

Article 14 The Ryokan shall, when unable to provide contracted rooms, arrange accommodation of the same standard elsewhere for the Guest insofar as practicable with the consent of the Guest.

2. When arrangement of other accommodation can not be made notwithstanding the provisions of the preceding Paragraph, the Ryokan shall pay the Guest a compensation fee equivalent to the cancellation charges and the compensation fee shall be applied to the reparations. However, when the Ryokan cannot provide accommodation due to causes for which the Ryokan is not liable, the Ryokan shall not compensate the Guest.

<Handling of Deposited Articles>

Article 15 The Ryokan shall compensate the Guest for the damage when loss, breakage or other damage is caused to the goods, cash or valuables deposited at the front desk by the Guest, except in the case when this has occurred due to causes of force majeure. However, for cash and valuables, when the Ryokan has requested the Guest to report its kind and value but the Guest has failed to do so, the Ryokan shall compensate the Guest within the limits of 150,000 yen.

2. The Ryokan shall compensate the Guest for the damage when loss, breakage or other damage is caused, through intention or negligence on the part of the Ryokan, to the goods, cash or valuables which are brought into the premises of the Ryokan by the Guest but are not deposited at the front desk. However, for articles of which the kind and value has not been reported in advance by the Guest, except in case of the damage caused through intention or gross negligence on the part of the Ryokan, the Ryokan shall compensate the Guest within the limits of 150,000 yen.

<Custody of Baggage and/or Belongings of the Guest>

Article 16 When the baggage of the Guest is brought into the Ryokan before his arrival, the Ryokan shall be liable to keep it only in the case when such a request has been accepted by the Ryokan.

2. When the baggage or belongings of the Guest is found left after his check-out, and the ownership of the article is confirmed, the Ryokan shall inform the owner of the article left and ask for further instructions. When no instruction is given to the Ryokan by the owner or when the ownership is not confirmed, the Ryokan shall keep the article for 7 days including the day it is found, and after this period, the Ryokan shall turn it over to the nearest police station.

3. The Ryokan's liability in regard to the custody of the Guest's baggage and belongings in the case of the preceding two Paragraphs shall be assumed in accordance with the provisions of Paragraph 1 of the preceding Article in the case of Paragraph 1, and with the provisions of Paragraph 2 of the same Article in the case of Paragraph 2.

<Liability in regard to Parking>

Article 17 The Ryokan shall not be liable for the custody of the vehicle of the Guest when the Guest utilizes the parking lot within the premises of the Ryokan, as it shall be regarded that the Ryokan simply offers the space for parking, whether the key of the vehicle has been deposited to the Ryokan or not. However, the Ryokan shall compensate the Guest for the damage caused through intention or negligence on the part of the Ryokan in regard to the management of the parking lot.

<Liability of the Guest>

Article 18 The Guest shall compensate the Ryokan for the damage caused through intention or negligence on the part of the Guest.

<Attached Table No.1>

Breakdown of Accommodation Charges, etc. for Ryokan (Ref. Paragraph 1 of Article 2 and Paragraph 1 of Article 12)

Total amount to be paid by the Guests	Contents
Extra Charges	(2) Extra Meals & Drinks (other than dinner and Breakfast) and Other Expenses
Taxes	a. Consumption Tax b. Hot Spring Tax

Remarks

When the child rate applies to elementary school or less, provided food, bedding, and yukata, we received an additional fee. For infants is free of charge.

<Attached Table No.2> Cancellation Charge for Ryokan (Ref. Paragraph 2 of Article 6)

(1) Penalties during regular period.

Date when Cancellation of Contract is Notified	Contracted Number of Guests			
	1 to 14	15 to 30	31 to 100	101 and more
No Show	100 %	100 %	100 %	100 %
Accommodation Day	100 %	100 %	100 %	100 %
1 Day prior to Accommodation Day	50 %	50 %	60 %	80 %
2 Days prior to Accommodation Day	30 %	20 %	50 %	50 %
3 Days prior to Accommodation Day	30 %	30 %	50 %	50 %
5 Days prior to Accommodation Day		30 %	50 %	50 %
6 Days prior to Accommodation Day			20 %	30 %
7 Days prior to Accommodation Day			20 %	30 %
8 Days prior to Accommodation Day			10 %	15 %
14 Days prior to Accommodation Day			10 %	15 %
15 Days prior to Accommodation Day				10 %
30 Days prior to Accommodation Day				10 %

Remarks

1. The percentages signify the rate of cancellation charge to the Basic Accommodation Charges.

2. When the booking is cancelled (All or a part of accommodation), the cancellation charge shall be charged for all of booking by Attached Table No. 2.

3. When part of contracted number of guests is cancelled, the cancellation charge shall be paid in the Attached Table No. 2.

(2) Penalties for during year-end and new year holidays and other specific days
If you apply for a special plan during the year-end and new year holidays or other specific dates, notwithstanding the regulations in the preceding paragraph, you will be charged a penalty amount calculated according to the cancellation policy stated in the plan.